

観光資産になると考えます。

フィルムコミッションについては、県内では五つが設立されていますが、加西市の現状としては市民や姫路のフィルムコミッションの協力を得ながら取り組んでいるのが現状です。その中で、一遍にフィルムコミッションも立ち上げるとなると、調査、研究が必要だと思います。また、観光のPRについては、改革メニューでも市内、市外に対する効果的なPRの検証を行っており、観光パンフレットの見直し、ウェブサイトのリニューアル強化等、新しい観光情報、市外、県外に発信していける形で考えたいと思います。

教育施設の充実と整備計画

Q 耐震調査の結果、加西市の校舎は耐震性能が劣り、すべての校舎に補強改修が必要との報告だった。今後10年間で約50億円以上の改修費用が見込まれると聞か、この結果が従来の改築計画に大きな負担と変動を余儀なくし、従来の改築計画を見直さねばならないときだ

と思う。必要とされていた改築計画にどのような影響が生じてくるのか。11校全部の小学校を残す方針で行くのか、校区をすべてシャッフルして五、六校に再編成する方向なのか、どちらを前提とした計画で進むとしているのか。この大きな転機を迎えたのをきっかけに一度市民にこの大きな問題を投げかけてはどうか。

A

小学校を含めた全体構想について、耐震

診断も終わり、本格的、具体的な年次計画に基づいた動きを開始しなければならなくなり、人口の減少を踏まえてどう考えていくかが一番大きな提起だと考えます。教育委員会事務局として考えている全体計画は、そういうことを考えず、まず小学校、幼稚園も含めて将来は考えなくてはいけない。同時に、学校開設準備委員会、教育委員会自体として、人口減少に対してどう考えていくのかを別様に考えていく。一言で言うとならざるを而行かせてやるといふのが、加西の現状にかなう。学校の校区再編、学校統合等について市

民に問いかけ、投げかけをしていくことは、そのとおりだと思いますが、問いかけることが最終結論を求めることになると思うので、その前にどういうお知らせ、市民の考える場を持ちながら、例えばシンポジウム等を含め、期を熟するのを待ち、投げかけていかなければならない大きなテーマだと考えています。

防衛施設関連の予算獲得

Q これまで加西市は青野原演習場に隣接する小野市、加東市とともに防衛省より防衛施設関連予算を

いただき、さまざまな施策が実施されたと聞く。他市と比べ加西市は予算額が非常に少ないと思うが、どれだけの予算をもちつてきたのか。今後の予算の増額にどのような見通しを持っているのか。予算増額の工夫、特に加西市の熱意が不足していたと思うがどうか。

A

県下では防衛施設の周辺整備事業を受け

ることのできる7市中、加西市は常に2番目の地位を確保しているのが現状です。今後

の予算の増額の見通しは、現在、沖縄の普天間基地の移設が計画され、移設に防衛費が相当額必要なことから、19年度の防衛施設の周辺整備事業の採択も大変厳しくなっており、このような状況が当分続くと思定しています。

防衛施設関連の予算の増額に向けての取り組みについては、小野市に比べるとかなり少ないということ、駐屯地の担当者等から提案の方法、アプローチ方法等を聞くとともに、場合によっては小野市からもヒアリングをかけて改善を図りたいと思います。さらに、人脈ということも必要だと思いますので、検討したいと思います。小野市がうまくいっているのであれば、同じやり方をまねするののも一つの方法だと思いますので、獲得に向けて頑張りたいと思います。

行財政改革

Q

超過勤務手当と節電について、時間内に業務

を終わらせるための努力はしているのか。集中的に忙しい時期等を見ながらアルバイト

ト等を配置し、効率的に時間内に業務をおさめるよう、努力していただきたい。フレックスタイムや、ノー残業デーを、もう一日増やす等でも変わってくると思う。また、残業における節電対策について、多くの照明にかかる経費もばかにならない。例えば卓上スタンドを持つてくる等、小さな積み重ねが大事ではないか。

勤めの関係上、土曜日曜しか役所には行けない方々に対し、土曜日曜の窓口開設は必要と思う。近隣、県内の開設状況は。また今まで協議があったのか。

A

時間外勤務手当の削減策については、ノー

残業デーの遵守、振替休日取得の励行、時間外目標の徹底、業務の効率化による時間外の削減等、全庁的に努力しています。フレックスタイムについては、5時以降の業務の多い部署で導入できないか、現在検討しています。ノー残業デーの追加等については、無駄な時間外の削減を図りつつ、状況を見ながら取り組んでいきたいと考えています。残業